



溜詰流のくしめ詳あり

嘉永四年六月十日井伊

頼直直儀胡長部尾松平

隠岐守定行胡長今より

後部尾市尾忠信より

手紙つとむり作られ

しりありあつたは

編りたり也そはり延宝

八年同八月廿保科市守郎

平容より井伊守頼直直儀

胡長松平下総守忠信部下

のり元信より

溜問へ出さるしそは家の

謄小見たり是王和元年正

月元日二十日井伊守頼直

松平下総守忠信より

あり同年六月嘉定より

松平下総守忠信より

三人忠信と作れり同日

月あり松平下総守忠信

と右左同ありしり

ありしり時頼直直儀より

下松守保科市守郎

頼直直儀より同日

二月廿六日今より

廿六日しり下総守忠信

保科市守郎より

頼直直儀より同日

先考奈佐久左衛門君

姓日下部宿禰諱勝皋

四兵衛君勝英諱母某第幾子也

氏延享元年七月十日及ハス

五日生於奉所駒留橋第

為兄四兵衛君勝岑之

嗣子寬政二年襲祿繼家

四年初朝見六年春試

登第賜時服

開領賞之是年秋擢

為御小納戸冬遷奉

命侍仕

儲君闈十一年三月十

八日没於家享年五

十六官年廿娶藤原氏俗稱ノ志

無子不有勝明則剛出係妻所產

也先考考通和漢學著

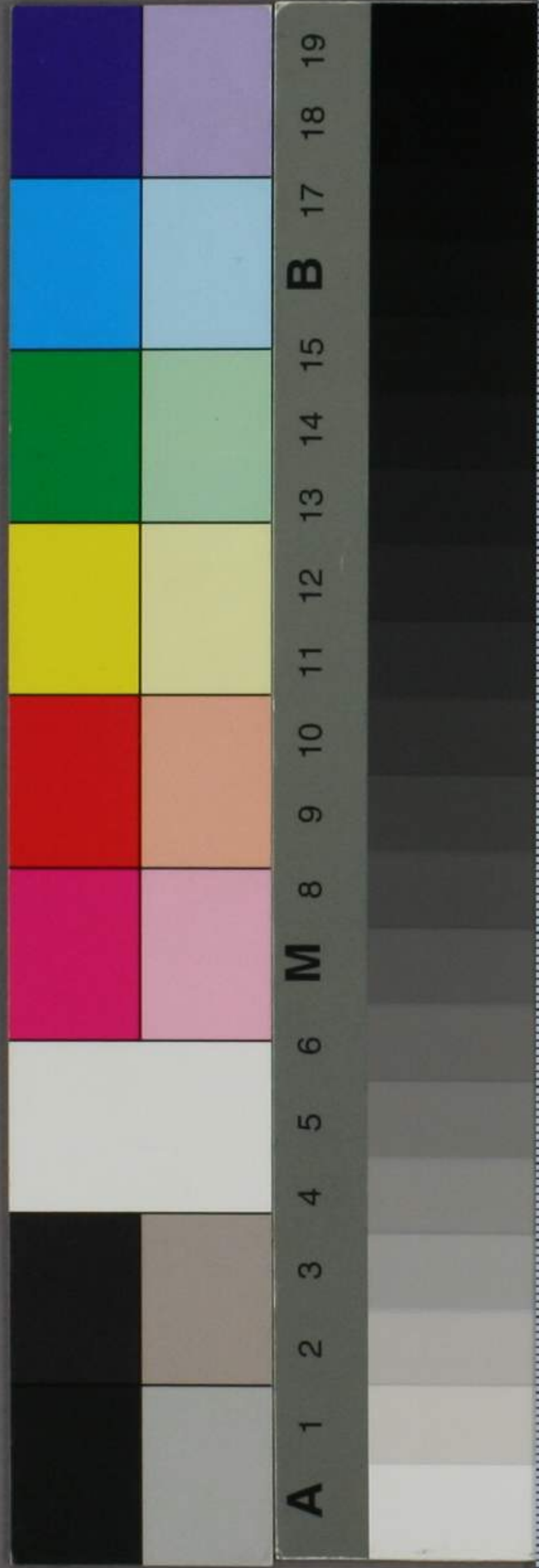
書若干卷皆藏于家焉百三十五

孝嗣勝明敬記

門人源弘賢書

孝以記

孝以記之云云



弘賢文稿

第三

特別
A4
8089
3